

## 父・佐々木眞養 回顧

佐々木隆介

父・佐々木眞養の存命中は、北辰会の皆様にご厚情を賜り、厚くお礼申しあげます。

この度、北辰会事務局様よりご依頼を承り、拙文ではございますが、生前の父について述べさせていただきます。

父は大正 13 年に生まれ、昭和 58 年に他界いたしました。59 歳の若さでした。

晩年は同窓会北辰会 2 代会長の職についていたと聞いていました。福井県で幼少期を過ごした後に大阪に出て、北野夜間中学で学びました。

第二次世界大戦では徴兵で赴いた広島県にて原爆投下に遭遇、爆風で吹き飛ばされながらも一命を取り留めました。まるで地獄絵図の広島を救護班として奔走し、多くの無残な亡骸を目の当りにしたようで、晩年もその光景を時折夢に見て、その度に平和への思いを強く語っておりました。

復員後に父は北野夜間中学の剣道部の恩師をお訪ねしましたが、戦死しておられました。先生のご霊前にご挨拶をして辞去する際に、恩師のお父様が今後の身の振り方をお尋ねくださり、行く当てのない父は宝石商を営まれていた恩師のお父様のご厚情で、その業界に身を投じたのです。そしてこれを機に多くの事業を興しながら昭和 36 年には宝石店を設立し、現在は父の跡を私が引き継いでおります。

父は豪放磊落で親分肌の社交的な人柄で、北辰会の皆様を始め素晴らしいお知り合いの方々に恵まれ、幸せな人生であったことと存じます。

戦後の混乱期に北野夜間中学の恩師の父君のご厚志で生涯の職を得ることが叶い、亡くなってから 35 年有余の年月を経ておりますが、父の人生は、北野夜間中学の先生方や北辰会の皆様無しでは語ることはできません。数々のご縁を賜りましたことを、改めてここにお礼を申しあげます。

末筆ながら、貴会のますますのご発展と会員皆様のご多幸ならびにご健勝を心よりお祈りいたしております。

\*事務局より

北辰会 2 代会長佐々木眞養さんの記録した物を持ち合わせていません。今回、文集「北辰 V」～ほたるに雪に～発行に当たりご子息の隆介さんにお父様の思い出を記して頂きました。併せて、初代会長、酒井芳政さん遺品学友会会報（昭和 15 年発行）の中に、佐々木眞養さんの 1 年生時の詩、一本道がありましたの併せて紹介させて頂き 2 代会長佐々木眞養さんの人柄を偲びたいと思いました。

北辰会事務局へ 2 代会長佐々木眞養さん遺族佐々木隆介さんより文集「北辰 V」～ほたるに雪に～への原稿が届きました。この原稿は早く発表をした方が良くと思い、佐々木さんに「北辰会 HP」掲載の許可を頂きました。

